

シン・いばらきメシ 総選挙2024

～市町村対抗 いばらき最強グルメ決定戦～

7市町において、県産食材を使用した新たなグルメ開発を行います

「シン・いばらきメシ総選挙2024」に向け、7市町と事業者等が連携し、食の専門家のアドバイスを
受けながら、ご当地グルメの新規開発やブラッシュアップを行うことが決定しました。

2024年2月中旬には、メディア関係者の皆様をご招待した試食会を予定しておりますので、改めて
ご案内いたします。



※茨城ご当地グルメ総選挙開催準備事業(R5・9月補正予算/委託先:株式会社リクルート)

- ◆支援メニュー①食の専門家(料理人・料理研究家等)によるアドバイス
②ストーリー性のあるプロモーション動画の制作

新たなご当地グルメ開発市町&食材

一般料理部門

市町	食材
笠間市	常陸牛・栗
鹿嶋市	かしまし豚
大洗町	あんこう
河内町	コシヒカリ・チョウザメ・レンコン

スイーツ部門

市町	食材
水戸市	チーズ
五霞町	さつまいも・米粉
境町	干し芋・小麦粉「ゆめかおり」

【補足】7市町は「茨城ご当地グルメ総選挙開催準備事業(R5・9月補正予算)」で新たなご当地グルメの開発を行うものであり、7市町以外の市町村においても、「シン・いばらきメシ総選挙2024」へのエントリーに向け、独自に準備を進めております。

食の専門家



▼じゃらんリサーチセンター

ご当地グルメ開発プロデューサー 田中 優子

2003年12月より宿泊施設や観光協会など約300施設を担当。

2013年6月より兵庫県エリアプロデューサーとして、地域課題と向き合い数多くの事業を実施。特に地域資源を活用した事業を得意とし、地域伴走型で持続可能な数多くのグルメを開発。

2017年3月に誕生した淡路島サクラマスでは、春限定グルメでありながら3年間で2億円以上売り上げる経済効果を上げている。

▼ぐっち夫婦(料理家)



夫 Tatsuya、妻 SHINO の夫婦で料理家として活動。

「日々の暮らしを楽しく美味しく。ちょっとおしゃれに」をモットーに、ライフスタイルに寄り添うレシピを考案し発信している。書籍出版の他、雑誌やテレビ出演、メディア連載の他、イベントにも多数出演し、オンライン料理教室も開催。

YouTubeチャンネル「YouTube ふたりごはん【料理家ぐっち夫婦の料理チャンネル】」などSNSの総フォロワー数は100万人以上を誇る。

▼樋口直哉(調理科学専門料理家)



服部栄養専門学校卒業後、料理教室勤務や出張料理人などを経て、全国の食品メーカー、生産現場の取材記事を執筆。料理家としても活動し、地域食材を活用したメニュー開発なども手がける。フレンチ、和食をベースにあらゆる料理に精通。

※書籍:「おいしいものには理由がある」他

【本件に関するお問い合わせ先】

茨城県政策企画部地域振興課 桔梗谷(ききょうだに)、薄井 TEL 029-301-2732(直通)

「シン・いばらきメシ総選挙2024」 目的・概要

開催目的

- 市町村が、**地元を代表する新たな「ご当地グルメ」**を出店するグルメフェスを開催
- 来場者の投票等**により、本県の最強「ご当地グルメ」などを決定
- グランプリ「ご当地グルメ」等について、**県内外へ集中的プロモーション**を実施

▶ **本県を代表する新たな「ご当地グルメ」の誕生！！**
「食」の観光資源の創出 + 「食」を通じた地域振興



HIROSHIMAフード フェスティバルより

開催概要

- 時 期 2024年10月12日(土)・13日(日)・14日(月・祝)
- 場 所 茨城県庁三の丸庁舎(水戸市)
- 参加方法 市町村は、「**一般料理**」と「**スイーツ**」の2部門にエントリー可能
※どちらかみのエントリーも可能

- エントリー条件 ①**新規グルメ**又は**既存ご当地グルメ**出品の場合は、味や素材・材料の配合など**新たな工夫**により
ブラッシュアップを図ること
②茨城県産の食材が使用されていること
③茨城県内に事業所があり、エントリー品目が実際に店舗・イベント等で販売・提供される予定であること

- その他 県産食材を活用した特別企画、地酒・県内クラフトビールの出店など検討中
⇒2024年春 詳細発表予定で調整中